



令和 7 年 8 月 28 日
高原町
西日本高速道路株式会社
MFAS 株式会社

報道関係各位

日本発祥の地から未来の道へ。メタハイウェイプロジェクト第一弾始動 ～地域の想いを「戦略」と「実行」に変える新たな挑戦(宮崎県高原町)～

宮崎県高原町(町長:高妻 経信)、NEXCO 西日本九州支社(福岡市博多区、支社長:加治英希)と、MFAS 株式会社(長崎市馬町、代表取締役:永田吉朗)は、「メタハイウェイプロジェクト」の第一弾として、地域資源を住民主体で発信し、戦略から実行までをつなぐ“地域経営プラットフォーム”による新たな地域活性化施策を開始します。

高原町は、天孫降臨の地・初代神武天皇ご生誕の地とされ「日本発祥の地」として PR 強化を図っています。そのような中、高速道路のインターチェンジを有する高原町では、NEXCO 西日本との共創活動により関係人口や交流人口の誘客も進めており、今回は、デジタル空間に開設した「高原サービスエリア(以下、「高原 SA」)」から新たな挑戦をはじめます。「高千穂峰^{たかちほのみね}」、「奥霧島温泉郷^{おくきりしまの温泉郷}」、「御池^{みいけ}」、「皇子原公園^{みうじはらこうえん}」、「地元薬草店(町木のタチバナを活用したお茶の開発)」といった地域資源を住民主体で発信できる仕組みを構築することで、地域に存する人、情報や資源等をつなぎなおし、“新たな道(メタハイウェイ)”創り(地域経営プラットフォーム)を開始するものです。また、高原町の歴史や文化だけでなく、多くの方々に伝え残すために生まれた「日本発祥地まつり」も、実行委員を担っている地元の中学生とも連携し、「高原 SA」を通じて多言語化することで、地域の魅力を直接世界に向けて届けていきます。

さらに施策は、単なる地域情報発信にとどまりません。例えば、地域課題を抽出し、戦略を描き、目標を設定して可視化する一連の仕組みを実装し、住民、事業者、行政が同じプラットフォームで地域活動を共有化できるようにします。さらに、セミナー配信、アンケート生成やサイト分析といったシステムも組み込み、従来は断片的だった情報や活動を、計画と実行へと活性化することを目指します。併せて、情報発信のフロントページには「緊急モード」を搭載します。平時は観光や文化情報を発信し、有事には防災ページに切り替わり、緊急情報や避難ルートに関する参考情報を表示するなど、一つのページで平時と有事をシームレスに切り替えるプラットフォームとして実装します。

・メタハイウェイプロジェクトとは:

高速道路は、単なる交通網でなく、地域間の距離感を縮め、人が動き、経済が動き、関係が生まれる「つながりの基盤」そのものです。この重要な社会基盤である高速道路の持つポテンシャルを最大限に発揮し、これまで以上に地域に役立てていただくために、NEXCO 西日本がこれまで培ってきた地域共創活動のノウハウに MFAS 社の持つ経営支援ノウハウと地域ネットワークを加え、デジタル基盤(共通フォーム)を構築。この基盤を活用し、地域住民・行政・事業者・金融機関等の多種多様なプレイヤーが活動を展開することで、これまでの地域・人・情報・資源等をつなぎなおし“新たな道(メタハイウェイ)”を創ることを目指すものです。

1. 実施概要

名称：メタハイウェイ・高原 SA
主な機能：観光・文化・地域資源の住民主体発信
日本発祥地まつりの多言語発信
平時から緊急モード切替による防災関連対応
公開日：令和 7 年 8 月 28 日(木曜) 14 時 00 分～
アクセス：<https://meta-highway.jp/meta-takaharu>
※スマートフォン推奨

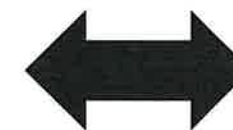


2. 機能イメージ

(1)情報発信側(フロントページ)



平時の情報発信フロントページ



緊急モード時の切替ページ



地元学生による取材・多言語化
(学生視点での画像選択とコメント記入)



✿ AIが紡いだストーリー:
In the heart of the highlands, a school stood tall,
Echoing with laughter, dreams, and all.
Among the mountains, where the wind sings clear,
A bond between us, forever dear.

Together we ventured, hearts filled with hope,
To breathe life into the land, to help it cope.
With every step we took, a story was told,
Of unity and courage, shining bold.

Hands joined in harmony, under the open sky,
Young souls ignited, reaching so high.
Planting seeds of change, with each passing day,
In the school of the highlands, we found our way.

英語によるストーリー生成の例
(多言語化されたストーリーを外部発信)

(画像はイメージです)

(2)管理画面側(コントロールセンターの例)

BackMirror – 提案生成 高原町

提案生成 PNG保存 データ保存

サイトプレビュー

集約レポート 地域：高原町 提案：10件

掲載言語 参加者管理 SNSリンク 掲載日数 通過率

高原町は自然や地域資源を活かし、持続可能な発展を目指すエリアです。住民や観光客が楽しめる取り組みを通じて、地域経済の活性化やコミュニティの絆を深めることが期待されます。今回は10件の提案を抽出し、「サイトの特徴・取り組みの方向性・関連語などを自由に。」や「観光・地域・デジタル・協働・防災」を中心に検討しています。地元の特産品や文化を活かした新たなプロジェクトを推進し、地域の魅力を広く発信していくことが重要です。

tourism collaboration economy disaster education community

高原観光周遊バス
高原町内の観光地を巡る特別バスを導入し、観光客にお得な周遊体験を提供します。地元の飲食店や宿泊施設と連携し、バス購入者には特典を用意。観光地を訪れることで地域経済の活性化を図ります。

学校連携防災訓練
地域の学校と連携し、防災訓練を定期的に実施します。生徒や保護者を対象に、実践的な防災知識を身につけてもらい、地域全体の防災意識を高めることを目指します。

デジタル体験ツアー
AR技術を活用した高原町の歴史や自然を学ぶデジタル体験ツアーを提供します。観光客がスマートフォンを使って、町の魅力を新たな視点で楽しむことができ、SNSでの発信も促進します。

温泉と歴史のコラボイベント
高原町の温泉と歴史的な名所を組み合わせ、特別イベントを開催します。観光客が温泉を楽しむながら、地元の歴史を学ぶことで、地域の魅力を再発見してもらいます。

地域事業者DXサポート
地域の事業者を対象に、デジタルトランスフォーメーションの支援プログラムを提供します。オンライン予約システムやSNS活用方法を学ぶことで、集客力を向上させ、地域経済の活性化に貢献します。

高原町自然体験プログラム
地元の自然を活かした体験プログラムを提供し、観光客に自然の美しさを体感してもらいます。ガイド付きのハイキングや野外活動を通して、地域の魅力を発信します。

キーワード / 背景メモ (任意)
サイトの特徴・取り組みの方向性・関連語などを自由に。
例) 観光周遊 / 学校連携 / 防災訓練 / 事業者DX / 温泉・歴史・自然体験

入力された語句を基に10件の提案カードを生成します。実際のイメージはイメージです。

地域資源を住民主体で発信し、戦略から実行までをつなぐことが可能な地域経営プラットフォーム機能の一例

本件に関するお問い合わせ

プロジェクト全体に関するお問い合わせ

高原町 産業創生課

藤倉

TEL:0942-33-7271

NEXCO 西日本 九州支社 広報課

中村、河添

TEL:092-260-6100(マスコミ専用)

システムに関するお問い合わせ

MFAS 株式会社

山下、永田

TEL:095-829-2741

※本資料は、国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、宮崎県政記者クラブに配布しています。

オーバービュー（全体像）

地域経営プラットフォーム（MFAS for META-HIGHWAY）

経営的観点（意識変容・行動変容・計画策定）

デジタル的観点（統合型プラットフォーム）

地域創生推進フォーラム等



- ・ 地域コンテンツ創出支援（資源開拓）
- ・ 地域プロダクト構築・企画支援
- ・ 地域物産・地域情報発信及びチャネル開拓

地域経営支援セミナー



- ・ 地域経営者勉強会（カリキュラム提供・専門家連携）
- ・ 地域経営モニタリング（経営ツール・モニタリングツール提案）
- ・ 銀行連携（地域伴走支援・認定機関連携・補助金・助成金等）

地域課題抽出・計画策定

- ①推進フォーラム等、支援セミナー等で地域創生・活性に向けての取り組みを行う。（意識・行動変容/EA化・エコシステムの構築）
- ②地域資源を分析。活性に向けての地域経営計画（行動計画・KPI・地域アクションプラン）を構築する。

導入効果

1. アナログコミュニケーションから方向性を見出し、計画策定とシステム化への分岐を行いシームレスなDX化を行う。
2. フロントシステムと内部システム間の連携と高速道路インフラとの連携によりリアル・仮想から地域創生の成長を促進する。
3. 地域経営的な観点でのモニタリングを行い、伴走型支援と経営計画（創生）・行動計画への即時反映による精度の高い計画実行を行う。

NEXCOリアルインフラ網



- ・ 高速道路SA連携ソリューション（プロモーション等）
- ・ 行動分析解析による地域経営施策への連携
- ・ ハイウェイメディアプラットフォームによる送客支援

MFAS地域経営システム



- ・ 地域情報発信支援ツール（活性化ポータル・防災ポータル）
- ・ 地域課題連携計画策定システム（活性化戦略策定支援）
- ・ 経営モニタリングシステム（地域向け戦略マップ・BSC等）